

公開シンポジウム「低炭素・健康な生活と社会の実現への道筋」  
の開催について

1. 主 催：日本学術会議／環境学委員会・土木工学・建築学委員会合同  
低炭素・健康社会の実現への道筋と生活様式・消費者行動分科会  
／健康・生活科学委員会／環境学委員会
2. 共 催：（予定）一般社団法人 日本建築学会、公益社団法人 土木学会、  
公益社団法人 日本建築士会連合会、他
3. 後 援：（予定）低炭素社会推進会議
4. 日 時：平成 29 年 6 月 23 日（金）13：00～17：00
5. 場 所：日本学術会議講堂
6. 分科会の開催：開催予定

7. 開催趣旨：パリ協定が発効して、世界は今世紀後半に温室効果ガス排出の実質ゼロとすることを目指し、持続可能な開発目標 SDGs が採択されて都市の在り方についての目標・指針が掲げられた。我が国でも地球温暖化対策計画が閣議決定されたことを受け、省エネルギー化、低炭素化は、建築・交通・都市の空間設計にかかわるステークホルダー全員の責務である。加えて、高齢化の進展下でこれを達成しなければならない。アジアについても、成長が継続しつつ、なおかつ我が国以上の速度で高齢化が進行する一層厳しい状況にある。

本分科会（低炭素・健康社会の実現への道筋と生活様式・消費者行動分科会）では、低炭素・健康社会の実現を目指して、20 世紀型の大量生産・消費のパラダイムの下にもたらされた経済成長、環境負荷増大、健康被害という流れを変えて、充足文明への転換による低炭素化と健康で質の高い QOL を両立させるための方策を探ることを目的とした提言をまとめた。本シンポジウムでは、その提言案を関係者に紹介し、その実施可能性についての討論を行い、提言の最終的なまとめに資する。

8. 次 第：

13：00 あいさつ

花木啓介（日本学術会議副会長、東京大学教授）

13：05 シンポジウムの趣旨

吉野 博（日本学術会議第三部会員、東北大学総長特命教授）

13：15 新しいライフスタイルと行動変容の動機づけ

報告：坂井 文（日本学術会議連携会員、東京都市大学都市生活学部教授）

討論：中上英俊（日本学術会議連携会員、株式会社住環境計画研究所代表取締役）

小玉祐一郎（日本学術会議連携会員、神戸芸術工科大学教授）

仙田満（日本学術会議連携会員、放送大学客員教授）

関係省庁の方々

14：00 成熟社会のための低炭素・健康都市のデザイン

報告：浅見泰司（日本学術会議連携会員、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授）

討論：梅干野晃（日本学術会議連携会員、放送大学教授）

南一誠（日本学術会議連携会員、芝浦工業大学工学部教授）

森本章倫（日本学術会議特任連携会員、早稲田大学理工学術院教授）

関係省庁の方々

14：45 住宅・建築の低炭素対策と創エネの加速化

報告：田辺新一（日本学術会議連携会員、早稲田大学創造理工学部建築学科教授）

討論：柏木孝夫（日本学術会議連携会員、東京工業大学特命教授）

高田光雄（日本学術会議連携会員、京都大学大学院工学研究科教授）

伊香賀俊治（日本学術会議連携会員、慶応義塾大学理工学部システムデザイン工学科教授）

関係省庁の方々

15：30－15：40 （ 休憩 ）

15：40 総合討論

(司会) 林 良嗣 (日本学術会議連携会員、中部大学教授)、  
吉野 博 (前出)

(コメンテーター) 米田雅子 (日本学術会議連携会員、慶應義塾大学  
先導研究センター特任教授)

福井秀夫 (日本学術会議連携会員、政策研究大学  
院大学教授)

那須民江 (日本学術会議第三部会員中部大学教授)  
関係省庁の方々

(総括) 村上周三 (日本学術会議連携会員、一般財団法人建築環境・  
省エネルギー機構理事長)

17：00 閉会

9. 関係部の承認の有無：第三部承認

10. 申し込み方法・連絡先

sc.jsympo@gmail.com (担当 坂井 文)

(定員になり次第締め切り)

(下線の登壇者は、主催分科会委員)